

～海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」～
ブルーカーボンによる自治体連携の輪がさらに広がります！
大阪府阪南市の養殖ワカメのブルーカーボンを取引可能な権利(クレジット)として認証しました

関西圏初

本市では横浜ブルーカーボン^{*1}事業^{*2}の更なる活性化につながる“日本国内におけるブルーカーボンの認知度の向上と活動の活性化”のために、他自治体でのブルーカーボンをカーボン・オフセット^{*3}に活用可能なクレジットとして認証^{*4}しています。

このたび、大阪府阪南市の養殖ワカメ（生産量 235.08 [t]）の申請について審査が完了し、クレジット（2.3 [t-CO₂]）として認証しました。

本市による他自治体のブルーカーボン認証が関西圏でも実現しました。
ブルーカーボンによる自治体連携の輪がさらに広がります！！

【阪南市長からのメッセージ】

本市は大阪湾沿岸にあって、古くから海藻の育成する浅場や自然系海岸を残し守ってきた都市の果たすべき役割として、2018年に「全国アマモサミット2018 in 阪南」を開催し、国内の沿岸域の保全に携わる研究者や地元漁業者、NPO、市民などが一堂に集まり、地域に根差した海との関わりや活動について議論を行いました。

そして、これを契機に、行政と多様な主体が連携して、地域環境のポテンシャルを活かした海辺の魅力づくりや海洋教育の推進、温暖化対策など、SDGsの目標達成に向けた様々な取組が活発化してきています。

今般、地元3漁業協同組合（尾崎・西鳥取・下荘）の生産した「養殖ワカメ」が吸収・固定するCO₂を、横浜ブルーカーボン・オフセット制度によりクレジットとして認証いただきましたことは、地球温暖化対策に資するブルーカーボンの認知度向上のほか水産業活性化等の産業振興にも寄与する大変意義ある取組と考えております。今後、これらの活動が市民のみならず多くの人々、団体、企業の意識啓発及び行動喚起に繋がることを心から期待しております。

阪南市長 水野謙二

【クレジット申請について】

クレジット申請者：阪南市長 水野謙二 様

クレジット対象：阪南市でのワカメ養殖（235.08 [t]）によるブルーカーボン

養殖場所：尾崎港周辺海域（阪南市尾崎漁業協同組合） 68.80 [t]

西鳥取漁港周辺海域（阪南市西鳥取漁業協同組合） 56.28 [t]

下荘漁港周辺海域（阪南市下荘漁業協同組合） 110.00 [t]

クレジット：2.3 [t-CO₂]

【ブルーカーボンの定量化手法について】

「浅海生態系における年間二酸化炭素吸収量の全国推計」（桑江朝比呂，吉田吾郎，堀正和，渡辺謙太，棚谷灯子，岡田知也，梅澤有，佐々木淳）の考え方を基本として、コンブ、ワカメに適用するための係数を調査の上で決定しました。

【クレジットの購入について】

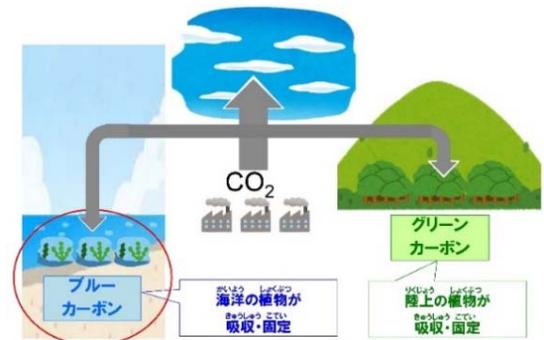
クレジットの購入を希望される方は、横浜市温暖化対策統括本部プロジェクト推進課横浜ブルーカーボン担当（電話：045-671-4109）までお問合せください。

裏面あり

【※1 ブルーカーボンとは？】

森林が吸収・固定するCO₂をグリーンカーボンといいます。同様に、海洋生態系が吸収・固定するCO₂をブルーカーボンといいます。

コンブやワカメなどの海藻も成長過程でCO₂を吸収します。しかしながら、コンブやワカメなど海産物として収穫されて食用や各種の原料として加工されてしまう部分の炭素は、再度大気中に放出されてしまうためブルーカーボンとはみなせません。コンブやワカメの成長過程で脱落した部位のうち長期的に分解されずにいるものをブルーカーボンとして扱います。



ブルーカーボンとグリーンカーボン

【※2 横浜ブルーカーボン事業とは？】

横浜ブルーカーボン事業では、独自のカーボン・オフセット制度の運用や環境教育・啓発活動によって親しみやすい海づくりに市民の関心を集め、市民や団体の豊かな海を守る活動を応援していきます。

【※3 カーボン・オフセット制度とは？】

CO₂排出量削減の手法のひとつとして、他者のCO₂排出量削減やCO₂吸収・固定の効果を買取り、自らのCO₂排出量と相殺するカーボン・オフセットがあります。カーボン・オフセットには、クレジット申請者には資金面の支援を受けることにより活動が活性化できるメリットがあり、オフセット実施者にはCSR活動として広報を行うことで企業価値が向上するメリットがあります。

横浜ブルーカーボン・オフセット制度では、クレジット申請者が受け取る販売代金の用途を海洋に関連する温暖化対策、環境保全、環境啓発の活動に活用することとしています。これにより、豊かな海づくり活動のさらなる活性化がもたらされ、オフセット制度による好循環サイクルが形成されます。

ブルーカーボンをクレジットとして認証しているのは国内では横浜市のみです。



オフセット制度による好循環サイクル

【※4 他自治体のブルーカーボンの認証とは？】

日本国内におけるブルーカーボンの認知度の向上と活動の活性化が横浜ブルーカーボン事業の活性化につながることから、他自治体での好循環サイクル形成の一助として、横浜ブルーカーボン・オフセット制度実施要領を改正しました。プロジェクトの要件を緩和し「ただし、自治体ブルーカーボン推進連絡会議に参加した地方自治体から申請されるブルーカーボンの取組に限り横浜市域外を可とする。」を加え、他自治体のブルーカーボンの認証を可能としました。

この取組により、他自治体にとっては、ブルーカーボンを使った様々なPRをすることができるというメリットがあります。また本市にとってのメリットは、国内でのブルーカーボン事業が活性化することで、ブルーカーボン事業における先進自治体である本市にさらに注目があつまることです。

お問合せ先
温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長 岡崎 修司 Tel 045-671-2636